最きのこに No.R7-07 R7.10.9発行

注意ください。

きのこ採りのシーズンには、毒きのこによる食中毒が増加します。 食べられるきのこと毒きのこが混じって生えていることがありま す。十分注意してください。

見分けられますか?

毒【ツキヨタケ】

- 山形県で最も中毒が多い。
- 柄を縦に裂くと芯の部分に

 黒 **褐色から暗紫色のしみ**がみら れる。まれに、しみが分かり にくいものがあるので注意が 必要。
- 傘の付け根につばのような でっぱりがある。



ムキタケ(食)

ツキヨタケ(毒) ヒラタケ(食)



毒【クサウラベニダケ】

- 雑木林や松の混在する林内に 点々と生える、または群生する。
- 傘は薄いねずみ色、淡黄灰色、 茶色のものもある。絹糸状の光 沢が特徴。

ウラベニホテイシメジ(食)

写真提供:山形県衛生研究所

猛毒きのこ「カエンタケ」にご注意を!

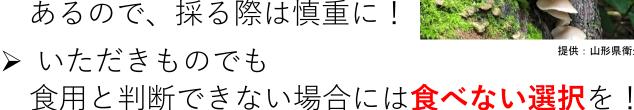
猛毒 【カエンタケ】

- 表面がオレンジ色や赤色で 「火炎」のような形。
- 毒性が非常に強い。
- 触れるだけで皮膚に炎症を起こす。
- ◆ 決して食べたり触れたりしないでください。



食中毒を防ぐために

- ▶ 確実に食べられるとわかる **ものだけ**採りましょう。
- ▶ 毒きのこと食用きのこが **混じって生えている**ことが あるので、採る際は慎重に!





提供:山形県衛生研究所

食用と確実に判断できないきのこは 採らない!食べない!売らない!譲らない!



山では、きのこ採りに夢中になるあまり クマと遭遇したり遭難したりなど 危険がいっぱいですので、 併せて十分ご注意ください。

お問合せ:山形県防災くらし安心部 食品安全衛生課 TEL: 023-630-2677